

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2	2	必修
担当教員			
黒川 浩美			
月2,3			
添付ファイル			

科目の概要	<p>生命の営みと健康の保持・増進のために適切な食物の摂取が必要である。人の一生における各ライフステージ、すなわち乳幼児期、学童・思春期、成人期、老年期には、それぞれのステージにあった栄養管理が必要である。応用栄養学では、ライフステージ別に身体の形態的・機能的特性を理解し、栄養状態や身体状況に適切な栄養マネジメントができることをめざす。本科目では、個人または集団の横断的または縦断的に把握した身体状況や食生活状況を評価する能力を養うための栄養マネジメントや栄養ケアの考え方を理解し、種類や方法について学ぶ。</p>
授業の内容	<p>第1回 栄養ケア・マネジメント ・栄養ケア・マネジメントの定義やプロセスについて理解する ・栄養スクリーニングについて理解する</p> <p>第2回 栄養アセスメント-1 栄養アセスメントの意義と目的</p> <p>第3回 栄養アセスメント-2 ・栄養アセスメントの指標および内容を理解する</p> <p>第4回 栄養ケア計画 ・栄養ケア計画の実施、モニタリング、評価、フィードバックについて理解する</p> <p>第5回 成長、発達、加齢変化と栄養 ・成長、加齢に伴う身体的・精神的変化と栄養について理解する</p> <p>第6回 食事摂取基準の基礎的理解-1 ・食事摂取基準の目的</p> <p>第7回 食事摂取基準の基礎的理解-2 ・食事摂取基準策定の基礎理論</p> <p>第8回 食事摂取基準の基礎的理解-3 ・食事摂取基準活用の基礎理論</p> <p>第9回 食事摂取基準の基礎的理解-4 ・エネルギー・栄養素別 食事摂取基準</p> <p>第10回 栄養アセスメント① ・モデル患者のアセスメント、評価を行う（グループワーク）</p> <p>第11回 栄養アセスメント② ・モデル患者のフィードバックを作成する</p> <p>第12回 栄養アセスメント③（発表） ・モデル患者のカンファレンスを行う</p> <p>第13回 環境と栄養 ・ストレスと栄養 ・特殊環境と栄養</p> <p>第14回 栄養ケアマネジメント、栄養アセスメント、栄養ケア計画のまとめ ・実際の栄養管理に適応できるようにまとめる</p> <p>第15回 日本人の食事摂取基準についてまとめ ・日本人の食事摂取基準、特徴の確認</p> <p>定期試験</p>
学習到達目標	<p>栄養マネジメントについて理解している。個人や集団の栄養状態の評価判定やリスク管理に必要な基本的な知識や能力を習得できている。 食事摂取基準の概念や考え方を理解し、管理栄養士として食事評価ができる実践力を身につけている。</p>
授業の方法	<p>講義形式、グループワークと発表 グループワーク：授業の進行に合わせ、グループワークを取り入れます</p>
成績評価の方法	<p>定期テスト 60%</p> <p>まとめ発表 20%</p> <p>提出物・積極的参加度 20%</p>
教科書・テキスト	<p>スタディ応用栄養学（建帛社） 東條仁美 編著 日本人の食事摂取基準(2020年版)</p>

参考書	授業中に紹介する
授業時間外の学修について（事前・事後学習について）	授業での課題は、提出期間内に必ず提出すること。
履修上の留意事項	課題、発表など積極的に参加すること。
オフィスアワー	水～金 15：00-17:00
実務経験	管理栄養士
その他	